

課題対応取組み報告書

【共通】

名称	春日出地域総合相談窓口（春日出ランチ）
提出日	令和5年6月30日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設（居場所づくり等） <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	現代社会から孤立しがちな高齢者の予防支援策として地域支援関係者と連携を図り、ネットワークを構築する。	
地域ケア会議から 見えてきた課題	i) 後期高齢者、ひとり暮らし高齢者など介護や支援・見守りのニーズが高い ii) 各分野の専門相談機関の連携および専門相談員のスキルアップ iii) 高齢化社会に必要な社会資源の掘り起こし iv) 認知症高齢者（疑い含む）への権利擁護支援 以上の4点を春日出地域総合相談窓口（以下「ランチという」）は地域ケア会議から見えてきた課題として挙げていた。中でも権利擁護支援の問題は多く発生しており、その問題において地域支援関係者との連携は不足している。	
対象	地域支援関係者として、西九条地区民生委員児童委員協議会。	
地域特性	ブランチの担当圏域は春日出中学校区である。 担当圏域内の高齢化率は、27.0%であり西九条地区が28.9%、梅香地区が28.4%、春日出地区(春日出中、春日出南)が23.8%となっている。(此花区全域は、27.2% 令和2年の国勢調査より) クレオ大阪西や此花総合センタービルなど、社会福祉施設や文化施設等がある。 戸建ての空き家が増加している様子があり、一方で新しいマンション建築が目立つようになっている。 全体的に町会入会率は低下しており、町会自体が高齢化している。	
活動目標	権利擁護支援を主として地域支援関係者と連携を図り、ネットワークを構築する。	
活動内容 (具体的取組み)	権利擁護支援講座～孤独死・福祉葬について、安心して亡くなれる地域づくり等について～ (10月26日事前説明、11月24日開催) 参加者：西九条地区民生委員児童委員9名（うち振り返りシート・アンケート8名の協力あり） 協力：此花区南西部地域包括支援センター「以下（包括）という」	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	地域で孤独死の現場を体験している参加者も多く、関心の高さを知ることができた。 「一歩踏み込んだ見守り活動の重要性と難しさを感じた」等の気づき、感想があり、今後の活動に参加者の半数が活かそうであるとの声を得ることができた。 ※振り返りシート・アンケートのまとめ 別添参照	
今後の課題	ブランチの計画では、・圏域内での権利擁護支援を主とした講座の開催(年2～3回程度)・圏域内での権利擁護支援を主とした出張相談窓口の開催(年2～3回程度)としていたが、今回は圏域内で1回しか講座は開催できず、圏域内での権利擁護支援を主とした出張相談窓口は全く開催できなかった。対象になる地域支援関係者は民生委員児童委員協議会だけではなく、連合振興町会、老人会など幅広い。今後は地域に根付き存在が浸透している包括からのスーパービジョンを受け、ランチとして何がどこまでできるのか、という基本的なことから精査し実践としていきたい。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和5年7月14日(金)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input type="checkbox"/> 継続性 <input type="checkbox"/> 浸透性 <input type="checkbox"/> 専門性 <input type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目(特性) についてのコメント *今後の取組み継続に向けて、区 地域包括支援センター運営協議 会からの意見等を記載。	地域に根差した民生委員と連携して一緒に取り組むことは効果の高い活動であり地域性が認められる。 地域の情報を持つ民生委員と活動することは今後も大事なことである。 今年度も継続していくことから今後は継続性への該当も期待する。	